

県内のテレビ各局のニュース番組=10日



日本の放送の大きな特徴は、NHK・公共放送と民放・商業放送の二元並立体制だ。この内実は、受信料収入のみで賄われるNHKと、番組広告収入を主たる収入源とする民放であること。前者が全国放送であるのに対し、後者は圏域(圏域)放送であることだ。さらにはテレビにせよラジオにせよ、放送には国の免許が必要で、総務省にその権限がある。政府はその裁量権を最大限活用し、県内における民放の数を市場のメー

ケット力に合わせた。近年、インターネットの隆盛の中で、相対的に放送自体の訴求力が弱まっていると、とりわけ民放は広告収入が今後、減少傾向にあるのではないかと、不安意識を抱えており、政府はこれを真摯に放送の枠組みを再考することを検討している。ここには、その中身から放送の未来を考えた。独立・多様・地域性 日本において放送の自由

時評

(3月)

山田 健太

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

放送制度改革

自由と「見る権利」確保を 転機迎えるNHKと民放

しかし当初から、新聞社が放送局を立ち上げた経緯などもあって、同一エリアで株式の持ち合いや役員兼任が顕著であった。さらに近年では、グループ化や持ち株会社化を認める中で、複数局を所有するようになった。しかし今日、インターネットが発達することによって、前提になる情報環境が変わる中で、これらも当然に生まれるだろう。こうした時代状況の中で、総務省に「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」が昨年11月に発足し、急ぎでの議論を進め、近日中に中間とりまとめが公表される見込みとなっている。同会では、

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

デジタル検討会

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

デジタル検討会

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

情報の中の海

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

情報の中の海

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

情報の中の海

独立・多様性(多正性)・地域性」だ。これを制約的に支えているのがスゴミ集中排除原則で、同一地域において新聞テレビラジオを同時に所有してはいけないなどの縛りがかつていて、地域におけるメディアを特定者が独占することを防止している。あるいは県をまたいで放送局を複数所有することを厳しく禁止していた時代もあった。

寄稿

ウクライナ危機

私は、末期のガンで闘病生活をしてきた伴侶と二人で暮らしていた。酸鼻が入るたびに、涙が止まらな

詩人がいる。彼の第1詩集『古瀬ホト 生養』という題には次のように書かれている。『詩人は、詩を以て生かす。』

池田記念賞に 荒井裕樹さん 賞が贈られる。賞金は100万円。

折りは薄く、死の影と回復の影を、小さな希望と大膽な地球の裏に朝を照らす。

◆第1、第2

まつばら・とし子 集に「那覇牛前堂 回出の口巻」(「詩論(詩人論) 作品

本連載の過去記事は本紙ウェブサイトに「嵐かな 風」「風評塔からつと」(いずれも田中書店)で読めます。

多くの人が同時に視聴し、地域社会共通の話題や課題を共有することで、コミュニケーションにおける対話のきっかけや政治選択可能性を持つことは、民主主義社会として維持しなくてはならない必須事項だ。しかも地域性を有しつつ、域内

「民主主義の維持発展に資する放送」が必要だとすれば、どのような形がふさわしいかという原点を踏まえ、もう一度きり社会全体で議論しなくては、いっただん擧げた後では手遅れだ。(豊修大学教授・言論誌)

「民権」が「言論」の土壌に転がる。歌うよみ詩しめ (因面ではすでに鮮やかな筆を揮いて書きたる。フアンターになり、地獄を鎮静するには(苦悶、戦い、讃歌)かれはそこにいて

人生を壊された錯乱。泳ぐ生は憂鬱しない。(かれの夢は)よみ詩の片隅に転がる。歌うよみ詩しめ (因面ではすでに鮮やかな筆を揮いて書きたる。フアンターになり、地獄を鎮静するには(苦悶、戦い、讃歌)かれはそこにいて

起立した景色が瞳を独りに奪う。荒涼も、かれの深刻な一日が、敏感な小鳥が誰かを、鉄が犬を驚かすや、かれの凶風を遣り過。調子は、その心の木。人生を壊された錯乱。泳ぐ生は憂鬱しない。(かれの夢は)よみ詩の片隅に転がる。歌うよみ詩しめ (因面ではすでに鮮やかな筆を揮いて書きたる。フアンターになり、地獄を鎮静するには(苦悶、戦い、讃歌)かれはそこにいて

地球の裏側に沈んだ鐘を、おとした朝の大海を、染めながら、今、曇りの夜は、破綻して、暗い静止画は、外された。光の動画が、その

地上の肖像

琉球